

パブリックコメントの結果について

【意見募集の概要】

案件名	ごみ処理施設基本設計(基本計画)の策定について
募集期間	令和3年12月23日(木)～令和4年1月21日(金)(30日間)
担当部・課	環境政策部 ごみ処理場建設推進課

【集計結果】

意見提出人数	4 人
意見数	4 件

【意見の検討結果】

項目	
① 修正します	意見に基づき、原案を修正するもの
② 意見として承ります	原案は修正しないが、今後の取組の参考とするもの
③ 原案のとおりとします	検討した結果、修正しないもの
④ その他	原案に関する意見でないもの(感想や質問)に回答するもの

【意見及び検討結果等の一覧】

No.	項目	意見(概要)	検討結果及びその理由
1	処理方式について	<p>香川県三豊市では、これまで焼却処理されていた混在ごみを資源化する企業が、市から委託を受けて、ごみを燃やさない処理を行っている。(ごみを発酵させ、発生した熱によりごみを乾燥後、固形燃料を生成する技術を持つ企業が市と協定を締結し、ごみ処理の委託を受けて処理を行っている。固形燃料は、近隣の大手製紙会社に全量引き取ってもらうよう市が確約を取り付けている。)</p> <p>企業と市が連携して環境、リサイクルに取り組む、経済性など様々な観点から持続可能で有益な施設と感じている。</p> <p>今回の計画に、このような施設や取り組みが加わるとより住みよい高山市になると思われる。</p>	<p>③原案のとおりとします</p> <p>新施設の処理方式を検討する中で、生ごみの発酵作用を利用した熱やガスなどの生成物の有効活用を検討委員会で議論していただきましたが、ご紹介の事例のような生成物を安定的に消費していただける供給先の確保、生ごみと発酵しない他のごみとの分離、発酵に必要なタンクなど用地の確保、発酵後の残さの処理、臭気対策などの観点から総合的に判断し、可燃ごみを焼却処理する方式を採用しました。</p> <p>本事業は、焼却処理を基本として施設建設を進めてまいります。脱炭素に繋がる新技術の採用や民間企業との連携などにより、持続可能で住み良いまちづくりに向け、今後も真摯に取り組んでまいります。</p>
2	事業者選定・入札について	<p>事業者の選定方法は、総合評価方式等でプラントの性能を評価することが重要である。</p> <p>併せて、地元企業への発注等地元貢献を評価することも重要であり、地元発注の割合や地域貢献についての評価点を高くしてもらいたい。</p> <p>価格優先で、地元企業が建設に関与できないような入札方式を採用することなく、定量化限度額の設定や低入札調査制度の導入により、価格のみで事業者が決まることのない評価の仕組みを構築すること。</p>	<p>④その他</p> <p>入札の条件、事業者の選定方法、低入札基準及び定量化限度額などの設定については、現在「高山市ごみ処理施設建設事業者選定委員会」で調査・審議を行っております。</p> <p>いただきましたご意見を委員会に報告し、ご検討いただくようにいたします。</p>

次ページに続く

No.	項目	意見(概要)	検討結果及びその理由
3	事業者選定・入札について	<p>品質の低下や地元企業にしわ寄せを与える恐れのある過度の価格競争を抑制するため、定量化限度額を設定し、技術提案重視でプラントメーカー(受注業者)を選び、品質の確保に努めること。</p> <p>本事業は、50年に一度あるかないかの大規模な事業であり、地元企業が参画して作り上げることが重要である。</p> <p>土木・建築といった工種は、本市に本社を有する地元企業が参画できるよう配慮してもらいたい。</p>	<p>④その他</p> <p>入札の条件、事業者の選定方法、低入札基準及び定量化限度額などの設定については、現在「高山市ごみ処理施設建設事業者選定委員会」で調査・審議を行っております。</p> <p>いただきましたご意見を委員会に報告し、ご検討いただくようにいたします。</p>
4		<p>地元企業への発注が、プラントメーカー(受注業者)任せとならないよう地元企業がプラントメーカーと組んで、建設事業に参画できるよう入札の条件を設定すること。</p> <p>また、低入札を防止する仕組みを要望する。</p>	<p>④その他</p> <p>入札の条件、事業者の選定方法、低入札基準及び定量化限度額などの設定については、現在「高山市ごみ処理施設建設事業者選定委員会」で調査・審議を行っております。</p> <p>いただきましたご意見を委員会に報告し、ご検討いただくようにいたします。</p>